

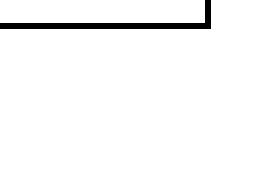
平成29年度県内各町伝統行事一覧（月別）

平成29年4月1日現在

区 分	月 日	町 名 () 内は推薦順位	行 事 名
4 月	2 日（日）～9 日（日）	上島町 (1)	いわぎ桜まつり
	第3土曜・日曜	砥部町 (1)	砥部焼まつり
	中旬～11月上旬	松野町 (1)	キャニオニング
	23日（日）	松前町 (3)	義農祭
5 月			
6 月			
7 月	1 日（土）～10 日（月）	久万高原町 (2)	「石鎚山」お山開き
	30 日（日）	伊方町 (3)	きなはいや伊方まつり
8 月	6 日（日）	鬼北町 (2)	四万十・源流広見川上り駅伝大会
	第1土曜日	久万高原町 (3)	久万山御用木まつり
		松前町 (1)	はんぎり競漕（まさき町夏祭り）
	6 日（日）～7 日（月）	内子町 (1)	内子笹まつり
	8月上旬	上島町 (2)	ふるさと夜市
	旧暦7月11日	愛南町 (2)	はなとりおどり
	13 日（日）	松野町 (2)	森の国の夏まつり
	8月上旬	伊方町 (2)	瀬戸の花嫁まつり
9 月	15 日（火）	内子町 (2)	寺村山の神火祭り
10 月	10月中の1～4週目までの週末	上島町 (3)	秋祭り
	10月8 日（日）～9 日（月）	伊方町 (1)	三崎秋祭り
	第4日曜日	松野町 (3)	秋まつり
	21 日（土）～22 日（日）	鬼北町 (1)	でちこんか
11 月	毎年11月中の2日間	松前町 (2)	たわわ祭(まさき町産業まつり)
	11月3 日（金）	愛南町 (1)	秋祭り
	11月上旬	砥部町 (3)	陶街道文化まつり、広田ふるさとフェスタ、秋の砥部焼まつり
	旧暦10月18 日	愛南町 (3)	正木の花とり踊り
12 月			
1 月			
2 月	毎年2 月	鬼北町 (3)	きじ鍋まつり
	2月下旬～3月上旬	砥部町 (2)	七折梅まつり
3 月			
	不定期	久万高原町 (1)	川瀬歌舞伎

伝統行事調査一覧(各町別)

【上島町】

1	行事名	いわぎ桜まつり	 
	場所	岩城島	
2	実施時期	4月2日～9日	 
	行事の概要	岩城島の中央にそびえる積善山には、麓から山頂までの登山道沿いに3千本を超える桜が古くから植えられてきました。 山頂展望台からは、360度の大パノラマが広がり、天気の良い日には四国山脈や中国山脈、瀬戸内海の島々が一望できます。 そして、桜の開花時期に合わせ、毎年、桜まつりが盛大に開催されており、和太鼓演奏やフォトコンテスト等、多彩な催しが行われ、町内外からの多くの人で賑います。	
3	行事名	ふるさと夜市	  
	場所	弓削島(弓削港周辺)	
	実施時期	8月上旬	
	行事の概要	弓削港周辺を会場として行われる夏の一大イベント。 会場内には、町内各島から島自慢の地元特産品等を販売する露店が軒を連ね、特設ステージでは太鼓演奏や浴衣コンテスト、お楽しみ抽選会等の催しが行われます。 お祭りのフィナーレは弓削港内から打ち上げられる迫力満点の花火大会です。間近で見られると評判を呼び、帰省客だけでなく、この夜市に合わせて訪れる観光客も多く、年々盛り上がりを見せています。	
3	行事名	秋祭り	  
	場所	弓削島各地区、佐島、生名島、岩城島、魚島	
3	実施時期	10月中の1～4週目までの週末	  
	行事の概要	10月は上島町のお祭り月間。 毎週末どこかの地区でお祭りが行われ、島中祭り一色になります。 奴行列や獅子舞、担き比べ等、各島各地区ごとに特色があり見どころ満載です。	

伝統行事調査一覧(各町別)

【久万高原町】

1	行事名	川瀬歌舞伎	  
	場所	演技できる施設のある場所等(久万高原町直瀬地区で活動)	
2	実施時期	不定期で公演。依頼等により上演することもある。	 
	行事の概要	川瀬歌舞伎は、現在、県内で唯一残る農村歌舞伎であり、県の無形民俗文化財に指定されています。 明治期ごろから農閑期の娯楽として始まり、昭和36年、「川瀬歌舞伎保存会」が結成され、現在に至っています。 会員は、30歳代～80歳代に至る老若男女が在籍し、主に三つの演題を演じています。 公演は、地元公民館まつり、町文化協会発表会ほか町外においても依頼により行っていますが不定期です。 平成29年度については未定です。	
3	行事名	「石鎚山」お山開き	 
	場所	久万高原町(土小屋付近)	
4	実施時期	7月1日から7月10日	 
	行事の概要	「石鎚山」は日本七霊山の一つに数えられ、今から1300年ほど前に、役小角(えんのおづぬ)が修験場として開山したとされる、石鎚連峰の中核を成す山です。 頂上に至る登山道は、鎖のかかる断崖となっていますが、毎年7月1日から10日間開催される「石鎚山お山開き大祭」には、全国各地から多くの参拝者などが集まり賑わいます。 この大祭は「石鎚神社頂上社」を中心に「中宮成就社」・「土小屋遙拝殿」・「口之宮本社」の四社において執り行われており、「仁」「智」「勇」の順に、3体のご神像を白装束の氏子らが担いで険しい山道を登ります。そして、山頂の「頂上社」に到着すると「ご神像拝戴」と呼ばれる神事を行い、1年間の無病息災を祈願します。 なお、石鎚山の女人禁制は、時代の趨勢により、現在は7月1日のみとなっています。	
5	行事名	久万山御用木まつり	 
	場所	久万高原町役場本庁及び商店街	
6	実施時期	8月第1土曜日	 
	行事の概要	松山城の築城にあたり、久万山からその用材を調達したという故事に基づき、林業後継者や商工業者が中心となって昭和59年から始められたまつりです。 本町駐車場から久万高原町役場までの商店街(約550m)を、約6mの丸太を担いで一気に走り抜けるタイムレースです。 参加者は衣装や演出も自由で、女性丸太レース・男性本命丸太等があります。	

伝統行事調査一覧(各町別)

【松前町】

1	行事名	はんざり競漕(まさき町夏祭り)	
	場所	塩屋海岸	
	実施時期	毎年8月第1土曜日	
	行事の概要	まさき町夏祭りのイベントの1つとして“はんざり競漕”を塩屋海岸で開催しています。 はんざり競漕は、海上に大きな「たらい」を浮かべ、体を前後に動かして漕ぐことで前に進み、その速さを競う全国的にも珍しい競技です。文禄年間に漁夫が、伝馬船代わりに「はんざり」という木のたらいを使い、競って沖を漕ぎ渡ったことが由来とされ、古くから松前の海の伝統行事として守り継がれてきました。大きなたらいを巧みに乗りこなし、勇ましく漕ぎ進む姿は、松前町の夏の風物詩となっています。 平成28年からは、高校対抗の部「はんざり甲子園」を新たに設け、松山近隣の高校生が参加するなど町外から大勢の方に参加いただき、大いに盛り上がっています。	
2	行事名	たわわ祭(松前町産業まつり)	
	場所	まさき村店舗前駐車場(エミフルMASAKI敷地内)	
	実施時期	毎年11月中の2日間	
	行事の概要	「恵み、めぐるまち、まさき」の商工水産の恵みが結集するイベントとして、“たわわ祭(まさき町産業まつり)”を開催しています。 会場では、特産品などの展示販売をはじめ、飲食店の実演販売、企業展、ステージパフォーマンスが行われ、バラエティに富んだ内容となっております。 子どもから大人まで松前町の魅力を実感し、楽しめるイベントとなっており、大勢の人で賑わっています。	
3	行事名	義農祭	
	場所	義農公園	
	実施時期	毎年4月23日	
	行事の概要	享保の大飢饉の際、自らの命と引き換え、麦種を後世に残した義農作兵衛翁の遺徳をしのび、作兵衛翁の「私」より「公」を、「己」より「他」を大切にする、義農精神を後世に受け継ぐため、毎年4月23日に義農祭を開催しています。 式典のほか、町内の児童や地域住民による義農太鼓・伊予万歳などの伝統芸能・演芸が披露されます。 また、会場内では松前特産の小魚などの海産物や、松前町内外の生産者が持ち寄った野菜・果物等が販売され、大勢の人で賑わっています。	

伝統行事調査一覧(各町別)

【砥部町】

1	行事名	砥部焼まつり	
	場所	砥部町陶街道ゆとり公園、砥部焼伝統産業会館周辺	
	実施時期	4月第3土・日曜日	
	行事の概要	砥部焼の全窯元(約100軒)が勢ぞろいし、約10万点余りの作品を一堂に集めた大即売会をはじめ、新しい砥部焼に出会える新作展など多彩なイベントや物産即売会が開催されます。	
2	行事名	七折梅まつり	 七折小梅
	場所	七折梅園	
	実施時期	2月下旬～3月上旬	
	行事の概要	味と質の良さで知られる「七折小梅」の産地、砥部町七折地区で、早春の訪れを告げる「七折梅まつり」が開催されます。 七折小梅をはじめ約30種、1万6千本の梅の木が咲き誇る梅園周辺では、各種イベントや梅加工品や農産物の販売が行われます。	
3	行事名	陶街道文化まつり、広田ふるさとフェスタ、秋の砥部焼まつり	 芸術文化フェスタ
	場所	砥部町中央公民館、ひろた交流センター、砥部焼伝統産業会館周辺	
	実施時期	11月上旬	
	行事の概要	砥部町自慢の技や逸品、特産品が一挙に大集合、砥部町を満喫する2日間です。 砥部町中央公民館では、陶芸、絵画などを展示する芸術文化フェスタや、七折小梅の加工品などを即売する町産品フェスタが、ひろた交流センターでは、子供向けイベントショー、歌謡ショー、農林産物の販売、もち撒きなどが行われる広田ふるさとフェスタが開催されます。 砥部焼伝統産業会館周辺では、歩行者天国となった町道に砥部焼の窯元ブースが出店し、対面販売を行います。また、砥部焼オークション、クイズ、ライブパフォーマンスなど多彩なイベントが行われます。	

伝統行事調査一覧(各町別)

【内子町】

1	行事名	内子笹まつり	
	場所	内子町内子 本町商店街	
	実施時期	8月6、7日(雨天で笹踊りが行えない場合は、8日に順延)	
	行事の概要	約70本の笹飾りが約1キロメートルの商店街にを彩る夏の恒例行事。一抱え以上もあるくす玉や、わっか、吹き流しが装飾された笹飾りは訪れた人々に華やかな雰囲気を与えてくれます。開催される2日間は歩行者天国となり、祭りの2日目の夜は「笹踊りコンクール」が行われ、豪華な笹飾りの下を練り歩き、お祭りを盛り上げます。他にも相撲大会や町並み撮影会など多彩なイベントを開催。「愛媛のまつり五十選」に選ばれ、毎年約2万人の人出で賑わいます。	
2	行事名	寺村山の神火祭り	
	場所	内子町寺村 寺村商店街付近	
	実施時期	毎年8月15日 午後6時頃～午後10時 雨天翌日	
	行事の概要	寺村山の神火祭りは六角山の下に幻想的に浮かび上がる「山ノ神」の火文字と「オヒカリ」と呼ばれる約5000の灯りが灯されます。文政6年(1823年)から続く伝統行事で、山の幸と秋の豊作を祈る想いが込められています。山里に轟く打ち上げ花火は夜空を美しく彩り、夏の思い出を作ってくれます。商店街には数多くの夜店が軒を連ね、喜鼓里太鼓、ライブ演奏などで賑わっています。フォトコンテストも開催されます。	

伝統行事調査一覧(各町別)

【伊方町】

1	行事名	三崎秋祭り	
	場所	伊方町三崎	
	実施時期	10月8日、9日	
	行事の概要	毎年10月8、9日の2日間にかけて行われる三崎地区の秋祭りは、江戸初期から続く伝統行事。 最大の見どころは「牛鬼と四ツ太鼓の練り」。全長約10mの牛鬼を垂直に引き上げ、牛鬼に四ツ太鼓のかき棒を押し合わせて蹴り上げ合戦を繰り広げる。源氏(四ツ太鼓)と平氏(牛鬼)の合戦に見立てたこの練りは大変珍しく、迫力満点で一見の価値有り。 また、浦安の舞やすもう甚句、五ツ鹿、唐獅子などの練りも奉納され、祭りは多くの見物人で賑わう。	
2	行事名	瀬戸の花嫁まつり	 
	場所	伊方町三机	
	実施時期	8月上旬	
	行事の概要	1986年、旧瀬戸町において地域活性化を目的に企画・開催された「瀬戸の花嫁まつり」。伊方町、瀬戸町、三崎町の3町合併以降も毎年8月に開催し、今年で32回目を迎える(平成29年8月6日(日)開催予定)。 イベント名からも連想できるブライダルショーはもちろん、魚のつかみどりやバーベキュー、歌謡ショー、海上花火大会など多彩な催しを実施。	
3	行事名	きなはいや伊方まつり	 
	場所	伊方町湊浦	
	実施時期	7月最終日曜日	
	行事の概要	毎年、7月の最終日曜日に開催している町内最大の夏のイベント「きなはいや伊方まつり」(平成29年7月30日(日)開催予定)。 伊方中学校を主会場に、日中は地元の特産品などを販売するきなはいや市場や子どもすもう伊方場所、食の祭典、キャラクターショー、活魚のつかみどりなどを、夜には会場を移して花火大会を実施。約5,000発の花火が伊方湾に打ち上げられ、イベントのラストを飾る。	

伝統行事調査一覧(各町別)

【松野町】

1	行事名	キャニオニング	
	場所	滑床溪谷	
	実施時期	4月中旬～11月上旬	
	行事の概要	滑床溪谷では昔から川遊びが盛んにおこなわれてきた。特に、日本の滝100選に選ばれている「雪輪の滝」を滑る遊びは、地元では昔からおこなわれていた夏の風物詩である。 近年、リバースポーツとして安全性に配慮した装備を装着し、専門のガイドの指導のもとおこなわれるようになった。 マスコミ等に取り上げられたり、体験者の口コミ等もあり体験者は年々増加傾向にある。 近隣市町のアウトドアスポーツとの連携も進めている。	
2	行事名	森の国の夏まつり	
	場所	松野町大字延野々 虹の森公園周辺	
	実施時期	8月13日	
	行事の概要	毎年夏に開催される「森の国の夏まつり」は、先祖供養の御施餓鬼にはじまり、伝統の曲目を中心に盆踊り大会、松野町が誇る鬼城太鼓の演奏、ガーデンパーティなどが目白押しで、この日は、松野町の人口が倍以上に膨らむ。 なかでも、まつり終盤の花火大会は、まさに目の前に広がる花火と鬼城太鼓の演奏が絶妙にマッチし、日本一の花火大会(自称)である。	
3	行事名	秋まつり	
	場所	松野町内(松丸地区、吉野生地区)	
	実施時期	10月第4日曜日	
	行事の概要	五穀豊穡を祝う伝統的祭り。松丸地区では牛鬼・四ツ太鼓、吉野生地区では獅子舞・五ツ鹿踊り・牛鬼・四ツ太鼓、大名行列などが町を練り歩きます。牛鬼と四ツ太鼓の鉢合わせは見物。	

伝統行事調査一覧(各町別)

【鬼北町】

1	行事名	でちこんか	 
	場所	鬼北町近永 奈良川河川敷ほか	
	実施時期	10月21、22日(土日)	
	行事の概要	一日目は「鬼のお太鼓コンテスト」や邦楽ライブが行われ、県内外の太鼓集団による熱い演奏が繰り上げられます。 二日目は、歌やダンスなどの多彩なパフォーマンスのほか、町内外の店が軒を連ねる「びっくり市」やジャンボきじ鍋の無料提供など、多くの来場客で賑わいます。	
2	行事名	四万十・源流広見川上り駅伝競走大会	
	場所	鬼北町大字広見～鬼北町大字延川間の広見川流域	
	実施時期	8月6日	
	行事の概要	日本最後の清流四万十川の最大の支流である広見川を舞台に開催される「四万十・源流広見川上り駅伝大会」。鬼北町の夏の一大イベントである本大会には、町内外から多くの人たちが出場し、大会を盛り上げています。 「川の流に逆らいながら、上流のゴール目指して走る」「水のあるところしか走ってはいけない」という珍しいルールに、年々出場者が増加。出場した人たちは、想像以上の自然の厳しさに苦戦しながらも、8人(女子は5人)の仲間とたすき代わりのヘルメットを繋ぎ、絆を深めながら懸命にゴールを目指しています。1人で3区間を走りぬく鉄人の部も見どころです。	

3	行事名	きじ鍋まつり
	場所	鬼北町岩谷 鬼北町農業公社
	実施時期	毎年2月
	行事の概要	日本最後の清流「四万十川」上流域の自然豊かな鬼北町では「きじ」を飼育しており、平成4年度から第3セクターの事業として500羽規模のきじ飼育を開始し、現在、地域振興の柱となる特産品として位置づけ年間3万羽規模の産地形成を目指しています。 平成18年度に愛媛県「愛あるブランド産品」に認定された「鬼北熟成雉」を多くの人に味わってもらおうと、毎年2月に町内のきじ生産者が中心となり「きじ鍋まつり」を開催しています。 イベント当日は、メインとなるきじ生産者が作る贅沢な「きじ鍋」のほか、「きじ飯」「きじ串焼き」等のきじグルメを販売。また、地元産の新鮮野菜や「どぶろく」など、さまざまな店舗が軒を連ねます。さらに、「愛治ちんどんクラブ」が生演奏を披露し、大いに会場を盛り上げます。

